

第52回

= 創立95年 =

貞香書展

2017.6.28(水)~7.10(月)

(7.4(火)は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00~18:00(入場は17:30まで) 最終日は15:00閉館(入場は14:30まで)
〈入場無料〉 ご高覧いただくと幸いです。

- ・ 講演会 7月5日(水) 11:00~12:30 国立新美術館講堂
〈講師〉: 笠嶋忠幸先生(出光美術館 学芸課長)
〈演題〉: 「古典鑑賞と書作」
聴講無料/定員200名(申込先着順) 申込先/貞香会事務所
- ・ 作品解説 7月1日(土) 15:00~16:00 (展覧会場内)
7月5日(水) 14:00~15:00 (展覧会場内)
- ・ 席上揮毫 7月5日(水) 15:00~16:30 (国立新美術館講堂)

主催・貞香会

会長 赤平泰処
理事長 中村青藍

後援・毎日新聞社

(一財)毎日書道会
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

〒135-0007

東京都江東区新大橋

1-5-4-211 根本方

TEL 03(6284)0466

FAX 03(6284)0467

貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で94年を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し、また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



第52回貞香書展入賞者

特別賞・審査会員推挙
推 薦 上野 泰僊 岩崎 芳穂
横張 瑞泉 小野 優 上坂 木蘭 近藤 朗詠 藤井 泉桜

公募1部

■特選

漢字多字数部門 宮田 奈摘 越川 淑泉 鈴木 葉香
漢字少字数部門 大堀 谿光
仮名部門 伊丹さつき

■準特選

漢字多字数部門 今野 沙穂 中島 恭子 佐藤 史帆 青木 照美 新井 由香
橋本 和奏 西館 汀舟
漢字少字数部門 岩館 紅楓 川本 桃子
仮名部門 今井 文子

■秀作

漢字多字数部門 根布谷順子 成田美和子 中川 秀雲 柿沼 陽和 藤沼 芳碧
大島 京子 藤原 優子 関根 熙雲 大芦 卿雲 小堀 竹栖
峯岸 悦子 杉山 貞馨 根本 柏暢 川端 正廣 松本 芳琇
成田 素旭
漢字少字数部門 山口 珠奈 杉山 桃月
仮名部門 志太 恵佳 川原 幽香
詩文書部門 鈴木 柏琴

■高校生奨励賞

漢字多字数部門 猪瀬 楓
漢字少字数部門 大海 知磨 大島 恋 山中 里沙

公募2部

■特選

漢字多字数部門 邊見 順子 大木 秀佳 根本 江南
漢字少字数部門 吉田 堂胤 壺井 尚子

■準特選

漢字多字数部門 小林 如雪 松島 翠柳
漢字少字数部門 亀田 恵子 村山 順子 吉岡 紀子 前川 清翠 永井 佑季
浅海 翔太 田口 和美 川口 康子 萩原 柊花

■秀作

漢字多字数部門 榎本 良子
漢字少字数部門 長畑 美成 中山 康平 雑賀 誠芳 田村美佐子 田中 峰堂
田杭 聡子 佐藤 玄風 永井 雅 長沼 昭子 長畑 裕子
深谷 節子 中上 和美 水沼 美明 浅野 照雄 鶴見 侑樹
進藤 舞 牛村ひろみ 前原 英子 若生 瑞峰 伊藤 泉映
仮名部門 井出 映泉 大竹 芳樹

■高校生奨励賞

漢字少字数部門 北島 妃恵 傳田 桃子

第52回貞香書展出品者

| | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-----------|---|-------------|-------|------------|
| 遺墨 | | | | | | | |
| | 佐藤 中処 | 〔東京〕 | 「李白詩一節」 | 審 | 中村 香柯 | 〔埼玉〕 | 「翰墨游戲」 |
| | | | | 審 | 三浦 看山 | 〔神奈川〕 | 李白詩 |
| 顧問 | | | | | | | |
| 審 | 荒木 大樹 | 〔東京〕 | 「蠶」 | | 監事 | | |
| 審 | 中村 素岳 | 〔埼玉〕 | 「道不拾遺」 | 審 | 杉戸 泰岳 | 〔埼玉〕 | 邵享貞詩 |
| 参与 | | | | | 長尾 泰邨 | 〔青森〕 | 菜根譚一節 |
| | 大野 宜白 | 〔埼玉〕 | 「無」 | | 名誉会員 | | |
| | 中谷 春径 | 〔東京〕 | 和歌一首 | | 後藤 鶴台 | 〔山形〕 | 「福聚海無量」 |
| | 晝間 欽堂 | 〔東京〕 | 四弘誓願之一 | | 審査会員 | | |
| | 松本 宜響 | 〔栃木〕 | 道心 | | 赤尾 真堂 | 〔兵庫〕 | 常建詩 |
| | 八木 舜堂 | 〔東京〕 | 岑參詩 | | 秋田谷 岱空 | 〔千葉〕 | 汪洪度詩 |
| | 若井 香樹 | 〔東京〕 | 井上靖詩「星」一節 | | 飯野 柳舩 | 〔埼玉〕 | 李賀詩 |
| 参事 | | | | 審 | 石原 翠山 | 〔東京〕 | 槐安国語句 |
| | 柏木 南城 | 〔東京〕 | 「紅塵飛碧海」 | | 五野 雪香 | 〔東京〕 | 茨木のりこ詩一節 |
| 審 | 加茂 泰玄 | 〔栃木〕 | 「灑灑落落」 | 審 | 岩田 映洞 | 〔埼玉〕 | 呉昌碩作品集より |
| 審 | 中村 大如 | 〔東京〕 | 空海詩一節 | 審 | 海野 蒼秀 | 〔埼玉〕 | 宋之間詩 |
| 審 | 中村 東泉 | 〔千葉〕 | 韋應物詩 | 審 | 大塚 澄心 | 〔埼玉〕 | 朱熹詩 |
| 審 | 平林 大舒 | 〔茨城〕 | 芭蕉の句 | | 大屋 泰穹 | 〔青森〕 | 杜甫詩 |
| | 二木 秀蔭 | 〔埼玉〕 | 萩原樂亭詩 | | 岡部 賀苑 | 〔埼玉〕 | 張九齡詩 |
| | 山根 紅樹 | 〔東京〕 | 漱石詩 | 審 | 沖 素宮 | 〔埼玉〕 | 陳子昂詩 |
| 会長 | | | | | 小澤 茜逕 | 〔東京〕 | 王維詩 |
| 審 | 赤平 泰処 | 〔東京〕 | 「凜之以風神」 | | 加地 香泉 | 〔東京〕 | 陸游詩 |
| 理事長 | | | | 審 | 龜和田 郁芳 | 〔栃木〕 | 輔車相依 |
| 審 | 中村 青藍 | 〔埼玉〕 | 「風従虎」 | | 川北 澄月 | 〔東京〕 | 良寛のうた |
| 副理事長 | | | | | 川島 栖園 | 〔埼玉〕 | 歐陽脩詩 |
| 審 | 奥山 泰嶺 | 〔埼玉〕 | 法華經安樂行品一句 | | 酒井 芳華 | 〔岐阜〕 | 良寛詩 |
| | 光谷 素仙 | 〔神奈川〕 | 高駢詩 | | 真田 禧子 | 〔埼玉〕 | 松尾芭蕉句 |
| 事務局長 | | | | | 清水 淡雲 | 〔埼玉〕 | 蘇直詩 |
| 審 | 根本 泰邱 | 〔千葉〕 | 高青邱詩 | | 末永 江春 | 〔千葉〕 | 牧水の歌 |
| 理事 | | | | | 鈴木 大嘉 | 〔新潟〕 | 「不動心」 |
| 審 | 飯野 彩心 | 〔栃木〕 | 朱日藩句 | | 津田 貞巖 | 〔埼玉〕 | 「自力更生」 |
| | 今井 泰篁 | 〔東京〕 | 「玉潤外鮮」 | | 永井 静軒 | 〔埼玉〕 | 三好達治のうた |
| | 後上 菁華 | 〔埼玉〕 | 八言双聯 | | 中田 翠苑 | 〔千葉〕 | 陳子昂詩 |
| 審 | 小峰 紀州 | 〔千葉〕 | 王維詩 | 審 | 中村 汀華 | 〔埼玉〕 | 「正聲感人順氣應之」 |
| 審 | 鈴木 蓮徑 | 〔栃木〕 | 高啓詩 | | 浜瀬 碧水 | 〔東京〕 | 蘇東坡詩一節 |
| | 高木 素近 | 〔東京〕 | 蘇軾詩 | | 林 澄翠 | 〔埼玉〕 | 王安石詩 |
| 審 | 高橋 珠翠 | 〔東京〕 | 王世貞詩 | 審 | 半田 桃香 | 〔静岡〕 | 室鳩巢詩 |
| 審 | 坪内 雪山 | 〔新潟〕 | 王安石詩 | | 深井 汀苑 | 〔埼玉〕 | 王漁洋詩 |
| 審 | 富田 青軒 | 〔千葉〕 | 虞世南詩 | | 藤田 彩緒 | 〔埼玉〕 | 千家元麿の詩 |

| | | | | | | |
|---|-----------|-------|-------------|-------|------|----------|
| | 細田 香瑤 | 〔千葉〕 | 魚玄機詩 | 池田 紀子 | 〔栃木〕 | 臨 礼器碑一節 |
| 審 | 真下 良祐 | 〔千葉〕 | 雅経の歌 | 市川 賀雪 | 〔青森〕 | 王冕詩 |
| | 三上 大岑 | 〔島根〕 | 「坐花酔月」 | 稲田 祥英 | 〔群馬〕 | 常建詩 |
| | 三石 貞紅 | 〔茨城〕 | 名句 八首 | 上坂 木蘭 | 〔東京〕 | 王維詩 |
| | 光田 秀穂 | 〔埼玉〕 | 吉田弘詩 | 浦野 芽衣 | 〔埼玉〕 | 杜甫詩 |
| | 室井 汀翠 | 〔埼玉〕 | 沈道映詩 | 江原 覺堂 | 〔東京〕 | 蘇軾詩 |
| | 森 小華 | 〔千葉〕 | 王維詩 | 大石 碧堂 | 〔静岡〕 | 章碣詩 |
| | 矢口 昌華 | 〔千葉〕 | 袁宏道詩 | 小野 優 | 〔東京〕 | 韓翃詩 |
| | 会員 | | | 及川 佩玉 | 〔千葉〕 | 壬生忠岑の歌 |
| | 石山 心茜 | 〔埼玉〕 | 秦韜玉詩一節 | 恩田 澄光 | 〔東京〕 | 蘇庠詩 |
| | 伊藤 朱楊 | 〔東京〕 | 王安石詩 | 北井 杏怜 | 〔東京〕 | 杜甫詩 |
| | 岩崎 芳穂 | 〔茨城〕 | 呉蘭雪詩 | 北村 亭弘 | 〔埼玉〕 | 七言二句 |
| | 岩渕 響泉 | 〔栃木〕 | 七言二句 | 草間 篁山 | 〔新潟〕 | 郎士元詩 |
| | 上野 泰僊 | 〔埼玉〕 | 良寛詩 | 工藤富美子 | 〔東京〕 | 枕草子一節 |
| | 上原 東琴 | 〔千葉〕 | 杜甫詩 | 栗原 汀逕 | 〔埼玉〕 | 王屋詩 |
| | 海老原綵翎 | 〔東京〕 | 三好達治の詩 | 小竹 布美 | 〔栃木〕 | 永寶周家鼎 |
| | 大恵田萌音 | 〔千葉〕 | 王維詩 | 近藤 朗詠 | 〔埼玉〕 | 唐泰詩 |
| | 川嶋 芳岳 | 〔千葉〕 | 王漁洋詩 | 佐藤 龍生 | 〔東京〕 | 杜牧詩 |
| | 倉石 芳園 | 〔埼玉〕 | 七言律詩 | 清水 天悠 | 〔栃木〕 | 春樹萬家烟 |
| | 佐伯 麗子 | 〔東京〕 | 佐伯静子の歌 | 白石 萌春 | 〔千葉〕 | 和歌九首 |
| | 佐藤 泰石 | 〔福岡〕 | 李白詩 | 菅谷 虹泉 | 〔千葉〕 | 李白詩 |
| | 佐怒賀昌琴 | 〔埼玉〕 | 自詠句 | 鈴木 英男 | 〔栃木〕 | 杜甫詩 |
| | 下川 翠雨 | 〔東京〕 | 杜甫詩 | 関口 恵子 | 〔群馬〕 | 李頎詩 |
| | 白根 如雪 | 〔東京〕 | 中原中也詩 | 高橋久美子 | 〔埼玉〕 | 夏日漱石詩 |
| | 鈴木 芳草 | 〔埼玉〕 | 白楽天詩 | 立花 香琳 | 〔東京〕 | 張説詩 |
| | 鈴木 玲香 | 〔千葉〕 | 杜甫詩 | 塚山 清峰 | 〔埼玉〕 | 韋應物詩 |
| | 高島 雪華 | 〔埼玉〕 | 杜甫詩 | 津田 雅代 | 〔東京〕 | 杜甫詩 |
| | 武内 陽華 | 〔埼玉〕 | 陶淵明詩 | 中村 吟有 | 〔千葉〕 | 和歌五首 |
| | 津村 佳園 | 〔東京〕 | 陸游詩 | 野村 佳鈴 | 〔千葉〕 | 中納言匡房の歌 |
| | 長尾 貫清 | 〔青森〕 | 仏説無量寿経四誓偈一節 | 橋本 竹泉 | 〔栃木〕 | 厝鱗 |
| | 日向野光苑 | 〔千葉〕 | 太田水穂の歌 | 原田 豊蘭 | 〔東京〕 | 松島庄十郎詩 |
| | 平澤 大廣 | 〔栃木〕 | 沈佺期詩 | 彦田 翠香 | 〔東京〕 | 黄庭堅詩 |
| | 松田 翠心 | 〔東京〕 | 深窓秘抄（冬恋）七首 | 廣田 教子 | 〔東京〕 | 野晒紀行一節 |
| | 緑川 杏泉 | 〔千葉〕 | 王維詩 | 藤井 泉桜 | 〔千葉〕 | 劉基詩 |
| | 宮本 汀扇 | 〔埼玉〕 | 李白詩 | 保坂 登志 | 〔栃木〕 | 機変如神 |
| | 渡辺 蒼秀 | 〔神奈川〕 | 石濤詩 | 堀越 紅蓼 | 〔茨城〕 | 源氏物語一節 |
| | 委嘱 | | | 益本 雪華 | 〔東京〕 | 益本恒夫句 |
| | 阿部 匠 | 〔東京〕 | 杜審言詩 | 松浦 芳春 | 〔千葉〕 | 李白詩 |
| | 荒井 谿水 | 〔千葉〕 | 西行の歌 | 村木 香風 | 〔東京〕 | 新美南吉詩 |
| | 池田 翠雨 | 〔千葉〕 | 新古今和歌集より二首 | 室田 彩翠 | 〔東京〕 | 自作詩「花一輪」 |

| | | | |
|-----------------|----------|-----------|----------|
| 森 佳鶴〔千葉〕 | 赤染衛門の歌 | 新井 由香〔埼玉〕 | 儲光義詩 |
| 森山 真衣〔東京〕 | 杜甫詩 | 有田 泉尚〔千葉〕 | 王維詩 |
| 山井 御代〔東京〕 | 杜甫詩 | 池ヶ谷千恵〔静岡〕 | 歐陽脩詩 |
| 横張 瑞泉〔茨城〕 | 楊範詩 | 伊丹さつき〔東京〕 | 臨 高野切第三種 |
| 吉田 和蓉〔東京〕 | 李白詩 | 猪瀬 楓〔栃木〕 | 王安石詩 |
| 世継 仁美〔東京〕 | 李白詩 | 今井 文子〔栃木〕 | 針切 |
| 和田 芳華〔栃木〕 | 朱熹詩 | 上杉 香荘〔東京〕 | 牧野鉅野詩 |
| 渡辺 桃舟〔静岡〕 | 孔平仲詩 | 上野 梨華〔埼玉〕 | 程明道詩 |
| 渡辺 萌苑〔東京〕 | 蘇東坡詩 | 大島 恋〔栃木〕 | 白樂天詩 |
| 会友 | | 大海 知磨〔栃木〕 | 「海月澄無影」 |
| 岩館 紅楓〔千葉〕 | 文徵明句 | 奥村 珠翠〔千葉〕 | 慈円の歌 |
| 江藤 啓子〔東京〕 | 杜審言詩 | 柿沼 陽和〔埼玉〕 | 杜甫詩 |
| 大芦 卿雲〔埼玉〕 | 黄庭堅詩 | 河合 詩歩〔東京〕 | 王維詩 |
| 大島 京子〔東京〕 | 杜甫詩 | 川本 桃子〔栃木〕 | 陳潤詩 |
| 大堀 谿光〔千葉〕 | 郭用中句 | 久保田桃扇〔静岡〕 | 李白詩 |
| 川端 正廣〔東京〕 | 杜甫詩 | 小林 節子〔東京〕 | 李白詩 |
| 川原 幽香〔千葉〕 | 式子内親王の歌 | 今野 沙穂〔埼玉〕 | 良寛詩 |
| 向後 佳溪〔千葉〕 | 孟浩然詩 | 佐久間琴弓〔東京〕 | 金子みすゞのうた |
| 五喜田幽石〔千葉〕 | 臨 祭姪文稿一節 | 佐藤 史帆〔静岡〕 | 高適詩 |
| 越川 淑泉〔千葉〕 | 丁仙芝詩 | 沢田 可祝〔東京〕 | 「龍從雲」 |
| 小堀 竹栖〔東京〕 | 李白詩 | 杉山 貞馨〔茨城〕 | 般若心經 |
| 佐藤 融雪〔千葉〕 | 杜甫詩 | 杉山 桃月〔静岡〕 | 申笏山句 |
| 塩野 洋子〔栃木〕 | 臨 伯喜 | 曾根 信行〔静岡〕 | 李白詩 |
| 志太 恵佳〔千葉〕 | 藤原義孝の歌 | 土屋 秀樹〔千葉〕 | 幽州夜飲 |
| 篠原 翠峰〔東京〕 | 蘇東坡詩 | 中島 恭子〔静岡〕 | 趙孟頫詩 |
| 鈴木 秀華〔東京〕 | 白居易詩 | 成田 素旭〔埼玉〕 | 高詠詩 |
| 鈴木 柏琴〔東京〕 | 自詠の句（二句） | 西館 汀舟〔埼玉〕 | 王士禛詩 |
| 鈴木 葉香〔千葉〕 | 賈島詩 | 根本 柏暢〔東京〕 | 程誥詩 |
| 関根 熙雲〔群馬〕 | 呉蘭雪詩 | 橋本 和奏〔東京〕 | 杜甫詩 |
| 田辺 由美〔神奈川〕 | 臨 地黄湯帖 | 林 玉凜〔千葉〕 | 蘇軾詩 |
| 中川 秀雲〔千葉〕 | 李白詩 | 飛田 静風〔千葉〕 | 虞謙詩 |
| 成田美和子〔東京〕 | 王勃詩 | 常陸 民生〔埼玉〕 | 李白詩 |
| 根布谷順子〔東京〕 | 張説詩 | 藤沼 芳碧〔埼玉〕 | 祖詠詩 |
| 広田 瑣葉〔東京〕 | 李白詩 | 松野 澄水〔東京〕 | 聶大年詩 |
| 藤原 優子〔東京〕 | 孟浩然詩 | 松本 芳琇〔埼玉〕 | 陳邦瞻詩 |
| 松下 彩虹〔東京〕 | 蘇東坡詩 | 峯岸 悦子〔東京〕 | 観音経偈一節 |
| 森川 映花〔千葉〕 | 杜甫詩 | 宮田 奈摘〔静岡〕 | 邵康節詩 |
| | | 宮村輝陽子〔東京〕 | 王維詩 |
| | | 山口 珠奈〔栃木〕 | 武帝句 |
| | | 山中 里沙〔栃木〕 | 従容録句 |
| 公募第1部出品者 | | | |
| 青木 照美〔東京〕 | 岑參詩 | | |

渡辺 蘇心〔山梨〕 石鼓文

公募第2部出品者

青木江莉花〔東京〕 邵康節句

浅海 翔太〔埼玉〕 白楽天詩

浅野 照雄〔東京〕 白居易詩

池田万有子〔東京〕 蘇東坡句

石毛 香雲〔千葉〕 殷雲霄詩

井出 映泉〔千葉〕 敦忠の歌

伊藤 香風〔千葉〕 白居易句

伊藤 泉映〔千葉〕 李嘉祐語

猪瀬 貞櫻〔茨城〕 小林一茶句二首

牛村ひろみ〔東京〕 「百雑碎」

榎本 良子〔東京〕 白楽天句

大木 秀佳〔埼玉〕 王維詩

大木 幽翠〔千葉〕 宮内郷の歌

大崎 素風〔千葉〕 貫之の歌

大竹 空翠〔千葉〕 蘇軾詩

大竹 芳樹〔千葉〕 忠岑の歌

小野 茜雲〔埼玉〕 柳宗元詩

加藤 伸幸〔東京〕 文徵明句

亀田 恵子〔東京〕 陳潤詩

川口 康子〔東京〕 「楽仕人和」

北畠 妃恵〔東京〕 沈周句

木村 紅祥〔茨城〕 高適詩

国貞 史絵〔東京〕 「臥游」

小池 紫翠〔埼玉〕 高翥詩

後登 政弘〔東京〕 道元禪師詩

後藤久美恵〔神奈川〕 崇徳院の歌

小林 如雪〔千葉〕 副島蒼海詩

雑賀 誠芳〔千葉〕 「桃李不言下自成蹊」

酒井 貞子〔東京〕 「不動心」

坂本 友香〔東京〕 杜甫詩

佐藤 玄風〔千葉〕 沈名孫句

佐藤 由紀〔埼玉〕 朱升之詩

進藤 舞〔千葉〕 「春誦夏弦」

高橋英美子〔東京〕 「愛心」

瀧澤 理子〔埼玉〕 藤原定家

田杭 聡子〔千葉〕 「天清曉露涼」

田口 和美〔静岡〕 「山花向我笑」

武井 幸子〔東京〕 「松花伴鶴飛」

田中 峰堂〔東京〕 「翰墨遊戯」

田村美佐子〔神奈川〕 彭汝砺句

壺井 尚子〔東京〕 葉菌句

鶴見 侑樹〔栃木〕 臨 風信帖一節

出口 哲〔東京〕 「識字憂患始」

傳田 桃子〔栃木〕 臨 集字聖教序一節

仲井 照子〔東京〕 楊傑句

永井 雅〔千葉〕 鮑溶句

永井 佑季〔東京〕 七言二句

中上 和美〔東京〕 良寛句

中島 剛〔東京〕 華幼武

長沼 昭子〔東京〕 杜甫詩

長畑 裕子〔東京〕 良寛詩

長畑 美成〔東京〕 李白句

中山 康平〔千葉〕 「山峰染月寒」

根本 江南〔千葉〕 舒以詩

野田眞紀子〔東京〕 夏日漱石の句

萩原 柊花〔千葉〕 高適語

深谷 節子〔茨城〕 白居易句

邊見 順子〔埼玉〕 千字文一節

前川 清翠〔東京〕 陸游句

前原 英子〔東京〕 「自浄其意 是諸佛教」

松島 翠柳〔千葉〕 李白詩

水沼 美明〔栃木〕 「得隴望蜀」

水間 稔〔栃木〕 杜甫詩

宮川万里子〔東京〕 杜甫句

村田 良苑〔千葉〕 毛宗文語

村山 順子〔埼玉〕 李白詩

山宮 美萩〔埼玉〕 「學而不思則罔」

山本 恵翠〔千葉〕 真山民語

吉岡 紀子〔神奈川〕 昭徳皇后句

吉田 光陽〔栃木〕 朱子の語

吉田 堂胤〔東京〕 元好問詩

ロベツト朋子〔東京〕 粘葉本和漢朗詠集

若生 瑞峰〔千葉〕 白楽天詩



会長 赤平泰処



顧問 中村素岳



顧問 荒木大樹



理事長 中村青藍



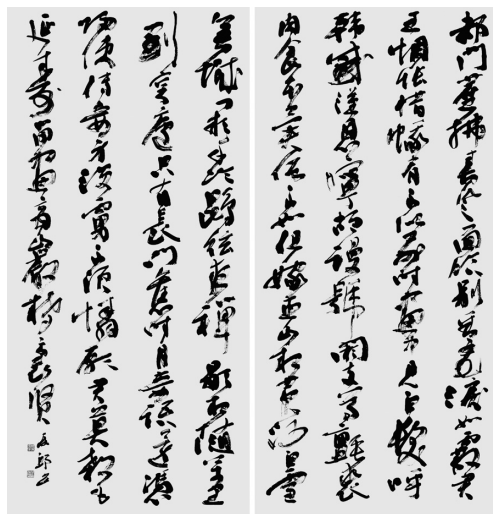
副理事長 奥山泰嶺



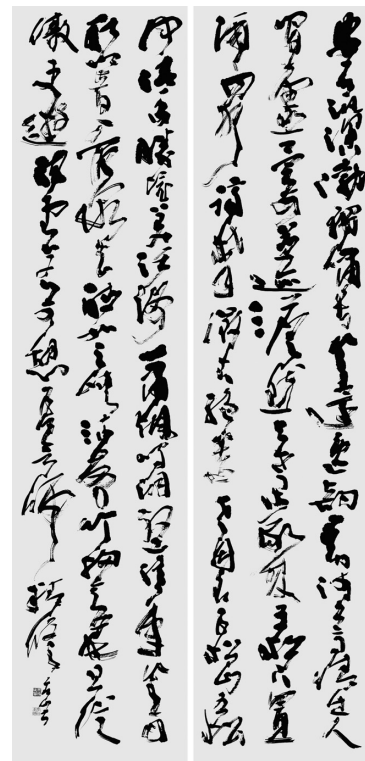
副理事長 光谷素仙



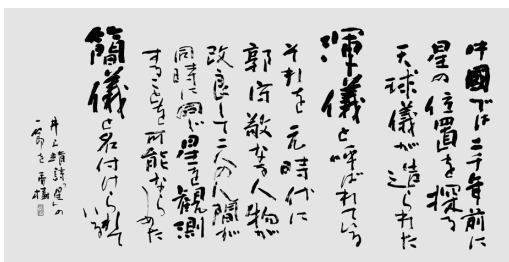
参与 畫間欽堂



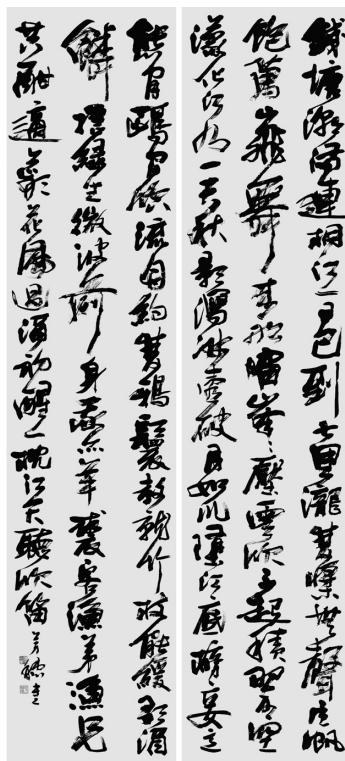
事務局長 根本泰邱



理事 三浦看山



参与 若井香樹



特別賞・審査員推挙
岩崎芳穂



特別賞・審査員推挙
上野泰僊

貞香書展

- ◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。
- ◆公募部門には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも第1部・第2部どちらかに出品することができます。
- ◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。
- ◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



貞香会総合書展

- ◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。
- ◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも
- ◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,000円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：600円（※裏打ち代含む）
- ◆'18貞香会総合書展公募「書範展」の作品締め切りは、平成29年11月20日(月)です。
- ◆作品の表装など取扱の全般は、東京書範社書範展係が行います。

洗碑会

創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑(「如是我聞」碑)前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文を前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

(伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>)



講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。2017年は、出光美術館学芸課長の笠嶋忠幸先生をお招きして、「古典鑑賞と書作」という演題でご講演いただきます。



近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は講演当時のものです）

- 2016年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館主任研究員)
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)
「書譜と黄州寒食詩巻—台北故宮博物院の名跡から—」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会長)
「多胡碑の朝鮮・中国への流伝とそれにかかわった人たち」
- 2009年 松丸道雄先生(東京大学名誉教授)
「漢字研究の最前線—新石器時代から楷書成立まで」
- 2008年 松井茂陽先生(株式会社墨運堂顧問)「墨の不思議」

競書誌『書範』

◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。

◆詳細については、東京書範社事務局までお問い合わせ下さい。

〒346-0005 埼玉県久喜市本町6-8-18

TEL：0480-21-2443



展覧会のご案内

平成29年(2017)

○第69回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月12日(水)～8月6日(日)※火曜休館、水曜午後1時開会

会場：東京都美術館 会期：7月19日(水)～7月25日(火)

○第48回 墨光書展

会場：春日部市民文化会館 会期：10月11日(水)～15日(日)10：00～18：00

初日13：00～ 最終日16：00まで

○第31回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月13日(金)～17日(火)11：00～19：00

初日13：00～ 最終日18：00まで

○第66回 大正大学全国書道展

会場：大正大学巣鴨キャンパス内 会期：11月4日(土)・5日(日)

URL：<http://www.zenkokuten.com/>

平成30年(2018)

○'18貞香会総合書展 役員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月19日(金)～1月24日(水)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は8頁をご覧ください。

本日は第52回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

平成29年6月28日
第52回貞香書展出品者一同